

2014年度 同志社大学大学院司法研究科  
入学試験

民事法  
(民法)

解答用紙は問題ごとに分かれているので、注意すること。

[注意]

1. 試験開始の合図があるまで、この表紙を開けてはいけない。
2. 資料として配付する六法はケースに入れて机の上に置き、試験開始の合図があるまで、開けてはいけない。また、六法に傍線等書き込みや折り曲げをしてはいけない。
3. 筆記用具（ペンまたは黒鉛筆（HB または B））、消しゴム、下敷き（ただし、下敷き使用の場合は許可を得ること）、時計（時計機能だけのもので、秒針が音を出すことがないものに限る）、鉛筆削り（電動式は除く）、その他特に許可したもののほかは使用できない。HB・B以外の硬度の鉛筆やシャープペンシルを使用して判読しにくい文字にならないよう注意すること。これ以外の携帯品は、試験監督者の指示にしたがって試験開始までに所定の場所に置くこと。修正液、修正テープの使用は認めない。なお、ラインマーカーや色鉛筆の使用は、問題検討のために問題紙に限り使用を認める。解答用紙や資料として配布する六法への使用は認めない。
4. 問題紙の本文は、2頁である。試験開始後ただちに欠落や印刷の不鮮明な箇所がないか確認すること。欠落や印刷の不鮮明な箇所がある場合は、手を挙げて監督者に知らせること。
5. 解答用紙は、第1問が3枚1組、第2問が2枚1組の計5枚である。解答用紙の左側にそれぞれ問題番号と小問番号が記載されているので、必ず対応する解答用紙に解答を記入すること。
6. 各解答用紙の左下に受験番号の記入欄がある。組になっている2枚目以降の解答用紙の受験番号欄にも受験番号を正確・明瞭に記入すること。
7. 試験開始後は、終了まで試験場から退室できない。
8. 試験はすべて監督者の指示によって行う。監督者の指示にしたがわない場合や不正行為を行ったときは、試験場から退出させることがある。
9. 試験中に気分が悪くなる等やむを得ない場合は、黙って手を挙げ、監督者の指示にしたがうこと。
10. 試験終了の合図とともに、すみやかに筆記具を置き、監督者の指示を待つこと。許可があるまで試験場を退室できない。
11. 試験終了後、問題紙は各自持ち帰ること。
12. 不正行為防止のため、携帯電話やPHS等の通信機器の使用は認めない。電源を切ってカバン等にしまうこと。
13. 耳栓は監督者からの指示が聞こえないので、使用は認めない。
14. 試験時間中の飲食は禁止するが、水分補給のため、ふた付きのペットボトル（ペットボトル以外は不可）に入った飲料を持ち込んで飲むことは認める。ただし、机には置かず、ふたを閉めて足元に置くこと。机上にこぼしたり、水滴によって解答用紙を汚損しないよう十分注意すること。

第1問 (配点：50点)

次の〔設例〕を読んで、問(1)から問(3)に答えなさい。

〔設例〕

Aは、BからB所有の甲土地を購入したが、所有権移転登記は、Aの子であるC名義で行った。後に、自己名義で甲の登記がなされていることを知ったCは、Dとの間で甲の売買契約を締結した。Dは、こうした事情を知らず、甲の登記がCの名義になっていたためCを甲の所有者と思いこんだのである。Dは、甲の売買代金を全額支払い、甲上に自己が所有している資材を搬入して甲を利用している。Aは、Dに甲の明渡しを求めた。

問(1)

①Bは、甲土地の売買契約を誰との間で締結したのか、また、②その契約における効果意思は何か、さらに、③この契約によって生じる効果の第三者に対する対抗要件は何か、について答えなさい。対抗要件については、登記義務者Bと誰とがどのような物権変動を原因として登記を行うのかについて明らかにしなさい。

問(2)

①Aが甲の明渡しを求める根拠は何か、また、②Dが甲を利用できる根拠は何かについて示したうえで、③AまたはDのいずれの権利が認められるべきかを検討しなさい。

問(3)

問(2)において、AまたはDの権利が認められるためには、AまたはDは、登記を備えていることを要するか。

入学試験問題 法律科目試験

(民法)

第2問

次の〔設例〕を読んで、問（1）および問（2）に答えなさい。（配点：50点）

〔設例〕

- 1 AはBに、Aが所有する甲土地を建物所有目的で賃貸し、Bは甲の上に乙建物を建てた。
- 2 Bは乙に5年間居住していたが、老後のことを考え、乙を長男Cに売った。Bは医療サービス付きの居住施設に入居した。Cは、それまでの住居を引き払って、家族とともに乙に居住している。
- 3 2の乙の売買に際して、BはAの承諾を得ずに、乙をCに譲渡した。
- 4 Aは、Bが自分に無断で乙をCに譲渡したことを知り、Bとの賃貸借契約を解除し、Cに建物収去・土地明渡を請求した。

問（1）

〔設例〕の1、2におけるA、B、Cの法律関係について説明しなさい。その際、L所有の丙土地を建物所有目的でLから賃借したMが、丙上の丁建物（M所有）をNに賃貸した場合のL、M、Nの法律関係との対比において、借地権者は誰になるのかに留意し、あわせて、建物に関する権利の処分と土地に関する権利の処分を明示して、A、B、Cの法律関係につき、説明すること。

問（2）

〔設例〕における解除について、下記①および②に答えなさい。

- ① この解除の根拠規定を挙げ、その規定の基礎にある考え方を説明しなさい。その際、債務不履行による解除の一般規定と比較すること。
- ② 〔設例〕に示された事実の下で、上記の解除規定の基礎にある考え方によれば、Aの解除は認められるべきかについて、検討しなさい。

2014年度 同志社大学大学院司法研究科  
入学試験

民事法  
(商法)

[注意]

1. 試験開始の合図があるまで、この表紙を開けてはいけない。
2. 資料として配付する六法はケースに入れて机上に置き、試験開始の合図があるまで、開けてはいけない。また、六法に傍線等書き込みや折り曲げをしてはいけない。
3. 筆記用具（ペンまたは黒鉛筆（HB または B））、消しゴム、下敷き（ただし、下敷き使用の場合は許可を得ること）、時計（時計機能だけのもので、秒針が音を出すことがないものに限る）、鉛筆削り（電動式は除く）、その他特に許可したもののほかは使用できない。HB・B 以外の硬度の鉛筆やシャープペンシルを使用して判読しにくい文字にならないよう注意すること。これ以外の携帯品は、試験監督者の指示にしたがって試験開始までに所定の場所に置くこと。修正液、修正テープの使用は認めない。なお、ラインマーカーや色鉛筆の使用は、問題検討のために問題紙に限り使用を認める。解答用紙や資料として配布する六法への使用は認めない。
4. 問題紙の本文は、1 頁である。試験開始後ただちに欠落や印刷の不鮮明な箇所がないか確認すること。欠落や印刷の不鮮明な箇所がある場合は、手を挙げて監督者に知らせること。
5. 解答用紙は、3 枚 1 組である。
6. 各解答用紙の左下に受験番号の記入欄がある。組になっている 2 枚目以降の解答用紙の受験番号欄にも受験番号を正確・明瞭に記入すること。
7. 試験開始後は、終了まで試験場から退室できない。
8. 試験はすべて監督者の指示によって行う。監督者の指示にしたがわない場合や不正行為を行ったときは、試験場から退出させることがある。
9. 試験中に気分が悪くなる等やむを得ない場合は、黙って手を挙げ、監督者の指示にしたがうこと。
10. 試験終了の合図とともに、すみやかに筆記具を置き、監督者の指示を待つこと。許可があるまで試験場を退室できない。
11. 試験終了後、問題紙は各自持ち帰ること。
12. 不正行為防止のため、携帯電話や PHS 等の通信機器の使用は認めない。電源を切ってカバン等にしまうこと。
13. 耳栓は監督者からの指示が聞こえないので、使用は認めない。
14. 試験時間中の飲食は禁止するが、水分補給のため、ふた付きのペットボトル（ペットボトル以外は不可）に入った飲料を持ち込んで飲むことは認める。ただし、机上には置かず、ふたを閉めて足元に置くこと。机上にこぼしたり、水滴によって解答用紙を汚損しないよう十分注意すること。

## 2014年度 同志社大学大学院 司法研究科

### 入学試験問題 法律科目試験

#### (商 法)

---

次の〔設例〕を読んで、第1問から第5問について関係する条文をあげて答えなさい。

〔設例〕

1. 甲株式会社（以下「甲社」という。）は、日常医薬品の販売事業（以下「A事業」という。）と住宅のリフォーム関連の事業（以下「B事業」という。）を主力事業として営んでいる取締役会設置会社である。
2. 甲社の代表取締役Cは、A事業の経営環境が厳しくなっている状況を懸念して、その対策として、現在ならば、A事業を高く売れることから、これを従来からの取引相手である乙株式会社に移転し、専らB事業に集中することを考えた。
3. 甲社の代表取締役Cは、A事業の移転の方法として、吸収分割と事業譲渡のいずれかの方法を考えている。

第1問 吸収分割とはどのようなものか。(配点：10点)

第2問 事業譲渡とはどのようなものか。(配点：10点)

第3問 吸収分割においては、甲社の債権者はどのような手続によって保護されるか。  
(配点：10点)

第4問 吸収分割においては、甲社の株主はどのような手続によって保護されるか。  
(配点：10点)

第5問 事業譲渡においては、甲社の債権者および株主の利益保護はどのようにになっているか。(配点：10点)